

(入院・外来)化学療法治療計画書

発行日 年 月 日

〈治療レジメン名〉 P-mab(パニツムマブ)単独療法

変更 (① / 、② /)

薬剤	投与量	投与方法	投与スケジュール
パニツムマブ(ベクテビックス注)	6mg/kg	点滴静注	Day 1

外来 科 主治医

患者名 様 ID:

生年月日:(M・T・S・H) 年 月 日(歳) 性別: 男性・女性

身長 cm 体重 kg 体表面積 m² 病名

No.	予定時刻	ルート	用法	薬剤名(規格量)	指示量	施行量	所要時間
	:	主管	点滴	生理食塩液	50mL	1 B	ルート確保
ア	:	主管	点滴	グラニセトロン注バッグ3mg	100mL	1 B	30分
				ポララミン注(5mg)	5mg	1 A	
				デキサート注	6.6mg	1 V	
				ガスター注(20mg)	20mg	1 A	
イ	:	主管	点滴	生理食塩液	100mL	1 B	60分
				ベクテビックス注	6mg/kg	mg	
	:	主管	点滴	生理食塩液 (ルート確保に用いた残り)			分

〈治療開始日〉 年 月 日

〈変更開始日〉① 年 月 日 〈変更開始日〉② 年 月 日

〈投与スケジュール〉 14日(2週)で1クール

Day	1	8
	↓	休薬

【注意事項】(同一レジメンを使用する患者全員に対して)

例) バイタルをとるタイミング・回数、血管外漏出時の対応 (Dr. コール前にする事)

- ・インラインフィルター(0.2~0.22 μ m)を使用して投与すること。
- ・血中電解質(Mg、K、Ca)を毎回確認すること。
- ・1回量が1000mgを超える場合は、生理食塩液で150mLに希釈し、90分以上かけて点滴静注すること。
- ・希釈後の最終濃度は、10mg/mLを超えないこと。
- ・重度のインフュージョンリアクションを起こすリスクがあるため、投与後、少なくとも1時間は経過観察(バイタルサインをモニターするなど)を行うこと。

【患者個別対応】(患者個人での注意事項)

例) アレルギー、終了後の安静など